

家庭における「いじめ」への対応

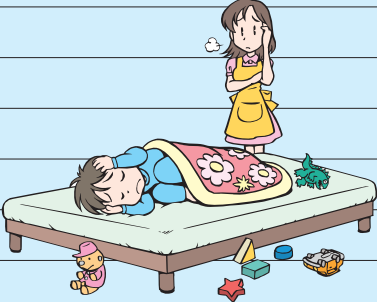
「いじめ」は見えにくいところで起こっていることが多く、その兆候を見逃しがちです。

子どもたちは大人が思うほど自分の気持ちをうまく表現することができません。つらく苦しいときに無理に明るく振る舞ったり、込み上げる憤りを抑えきれず、反抗的になったりもします。

しかし、それが精一杯の表現であり、メッセージなのです。このような子どもの変化として現れる『**ことばにならないメッセージ**』に早く気づくことが早期解決につながります。

I 「いじめ」に遭っている子どもの変化

『ことばにならないメッセージ』チェックリスト

日常生活面	チェック欄
夜更かしがちになり、極端に寝起きが悪くなった。	
登校時間になると、頭痛・腹痛等の体調不良を訴えることが増えた。	
学校を休みたがったり、早退が増えたりする。	
帰りが遅くなったり、理由も言わずに外出する。	
衣服の汚れが目につくようになった。	
理由のわからないアザやケガがある。	
学校のことを話さなくなった。	
食欲が急に落ちた。	
自己否定的な言動が増えた。	
	
友人関係	
親しかった友だちと遊ばなくなった。	
遊びに行く回数が減った。	
聞いても名前を答えない電話が増えた。	
電話に出たがらない。	
携帯の着信を無視するようになった。	
アドレスを頻繁に変更するなど、メールのやり取りが変わった。	
転校や退部の話題がでるようになった。	
	
持ち物	
学用品がなくなったり、落書きされたりしている。	
こっそりナイフやカッターなどの刃物を持ち歩いている。	
必要以上に小遣いを要求するようになった。	
家族との関係	
ささいなことで怒ったり、八つ当たりをするようになった。	
家族との会話が減った。	
かたくなになった。	
親を避け、部屋に閉じこもりがちになった。	
